
ドイツ語の不在構文 (Absentiv) の用法と 使用される動詞の考察

伊藤 港

1. 序論

現在のドイツ語には、(1) のような新しい文法カテゴリーとされる Absentiv (不在構文) というものがあり、<sein + 不定詞> の形で表現される。この構文の不在の意味について考察するため、本稿では不在構文ではなく、Absentiv という呼称を利用する。

(1) a. Er ist einkaufen.

彼は買い物に行っている。(筆者訳)

b. Er war einkaufen.¹⁾

彼は買い物に行っていた。(筆者訳)

Absentiv という用語を初めに用いて説明を試みた、de Groot (2000) によると、多くのヨーロッパ言語でこの新たな構文の存在が確認されている²⁾。この構文は、新しい概念なため先行研究がまだ多くなく、先行研究では Absentiv の用例としての文が掲載されているだけで、十分に Absentiv の文中の使用場面が考察されていない。本稿では、大規模コーパスを用いて Absentiv の例文を収集し、テキスト言語学の視点から、文中で Absentiv がどのような役割を担っているのかを考察する。また、ドイツ語の Absentiv とフランス語の半過去の共通点を示す。本稿で扱うドイツ語の例文は、DWDS、COSMAS II、先行研究の論文から引用している。

2. Absentiv について

現在のドイツ語を含むヨーロッパの 8 つの言語で Absentiv があると de Groot (2000) で言及されており、それは、ドイツ語、フィンランド語、フリージア語、

1) 池内 (2012: 33)。

2) de Groot (2000: 695) 参照。

イタリア語、オランダ語、ノルウェー語、スウェーデン語、ハンガリー語である³⁾。Absentiv は、新しい文法カテゴリーで、まだ十分に考察されていないものとされ、ドイツ語における Absentiv は、<sein + 不定詞>の形で表現される⁴⁾。(3)のように『独和大辞典』にも例文としては記載があるが、文法的な解説はされていない。

(2) Anna ist essen.⁵⁾

アナはご飯を食べに行っている。(筆者訳)

(3) Er ist essen (arbeiten) gewesen.⁶⁾

彼はご飯を食べに(仕事に)行っていた。

de Groot (2000)によると、Absentive は以下の特徴を持つ。

(i) *Remoteness*

The absentive implies remoteness of a person (sometimes an object) from a deictic centre. That is why the absentive does not combine with an adverbial phrase of the type *next to me*.

(i) 遠隔

Absentiv は、直示的中心からのある人物(時々はもの)の遠さを含意している。だから、この構文は *next to me* (私の隣) というタイプの副詞とは結合しない。

(ii) *Distance*

When using the absentive the distance between the person absent and the deictic centre should not be (too) short. The person absent must be invisible. For that reason the absentive cannot be used with verbs denoting direct (visual)

3) de Groot (2000: 695) 参照。

4) ドイツ語以外の言語での Absentiv は、イタリア語では「be 動詞+場所前置詞+動詞の不定形」、ノルウェー語などでは「be 動詞+並列接続詞+動詞の定形」となる。de Groot (2000: 696) 参照。

5) Vogel (2007: 253).

6) 国松 (1999) 参照。

perception.

(ii) 距離

Absentiv が使われるとき、不在の人物と直示的中心の間の距離は近くない（近すぎない）。不在の人物は目に見えてはいけない。その理由から、この構文は直接（視覚的な）知覚を示す動詞と共に使われることができない。

(iii) *Temporal boundedness*

When the absentive is used, there is an assumption about the duration of the absence of a person. Because the absentive encompasses both directions “going away” and “coming back” directional verbs cannot be used, because they specify just one direction and exclude the second one.

(iii) 時間の拘束性

Absentiv が使われるとき、ある人物の不在期間に関する推定がある。この構文が *going away*（あちらへ行く）と *coming back*（帰ってくる）という両方の方向を包含するので、方向動詞は使われない。なぜなら、それらの方向動詞は一つの方向だけを規定し、もう一方の方向を除外するからである。

(iv) *Dynamicity*

The absentive is a (non-agentive) stative expression. For that reason the absentive cannot be used with deontic modality and imperative illocution.⁷⁾

(iv) 動作性

Absentiv は、（動作主がない）状態表現である。そのため、Absentiv は、義務に関するモダリティ表現と命令の発話内行為と共に使われない。（筆者訳）

Vogel (2007) は、Absentiv が、以下の特徴を持って現れると説明する。

i. Morphosyntax

a) Es liegt das Verb *sein* sowie ein weiteres Handlungsverb vor, wobei das Subjekt in jedem Fall mit *sein* kongruiert.

7) de Groot (2000: 714- 715).

b) Es dürfen nicht obligatorisch Elemente wie *weg*, (*weg*)*gegangen* und Ähnliches vorkommen, die auf lexikalischer Ebene Abwesenheit signalisieren.⁸⁾

i. 形態統語論

a) 動詞 *sein* ともう 1 つの行為動詞 (Handlungsverb) が一緒に存在し、いかなる場合にも主語は *sein* と一致する。

b) *weg*, (*weg*)*gegangen* とそれに似たような要素は義務的に現れてはならない、それらは、語彙レベルにおいて不在をあらわす (からだ)。(筆者訳)

ii. Semantik

a) Die im Subjekt kodierte Person X hat sich vom Ausgangsort als dem deiktischen Zentrum entfernt und ist abwesend,

d. h. auch nicht in Sichtweite.

b) Grund der Abwesenheit von X ist eine im Handlungsverb kodierte Tätigkeit an einem anderen Ort.

c) Grundsätzlich wird angenommen, dass X nach einer der Tätigkeit angemessenen zeitlichen Abwesenheit wieder zurückkehrt.

d) Diese Tätigkeit wird von X regelmäßig durchgeführt (z. B. als Hobby) .⁹⁾

ii. 意味論

a) 主語としてコード化される人物 X は、直示的な中心としての出発場所から離れ、不在である。つまり視野にも入っていない。

b) 人物 X の不在の理由は、他の場所で行為動詞内にコード化された活動にある。

c) 基本的に、人物 X は、その活動に適当な時間的不在の後に再び戻ってくる事が想定される。

d) この活動は人物 X によって規則的に実行される (例えば、趣味として)。(筆者訳)

de Groot (2000) では、Absentiv の持つ共通の特徴から、Vogel (2007) では、統

8) Vogel (2007: 253).

9) Vogel (2007: 253).

語的、意味的特徴からこの構文を定義し、説明している。また、de Groot (2000) では、Absentiv で使われる動詞は、普段人が生活や趣味をすることと関係するものであって、そうでない場合、その動詞は使われないと説明されている¹⁰⁾。つまり、定期的に、または複数回その行為が行われるとき、この構文が選ばれ使われる。

それに対して池内 (2012) は、(4) の例文を示し主語は不在だが、自宅の中か近くにいる表現が可能だとし、遠隔 (Remoteness)、時間の拘束性 (Temporal boundedness) といった特徴は Absentiv の典型的なものではあるが、固有のものではないと言う¹¹⁾。遠隔 (Remoteness) という特徴は、主語が外へ行くから必然的に起こり、時間の拘束性 (Temporal boundedness) がどれくらい続くかは、不定詞に左右されるとする。

(4) „Danke!“, rief er von der Terrassentür - er war gerade rauchen.

(forum.dnd-gate.de/index.php?topic=12639.0;wap2)

「ありがとう」と、彼はテラスのドアから叫んだ、彼はちょうど煙草を吸いに行っていた。(筆者訳)

3. Absentiv の由来

池内 (2012) によると、Absentiv の由来は主に3つあると考えられている¹²⁾。

3.1. gegangen 省略説

(5) a. Er ist schwimmen (gegangen) .

彼は泳ぎに行っている。(筆者訳)

b. Er war schwimmen (gegangen) .

彼は泳ぎに行っていた。(筆者訳)

(5) の例文 b. は、「彼は泳ぎに行っている。」という行為が過去にあったこと

10) de Groot (2000: 712) 参照。

11) 池内 (2012: 35) 参照。

12) 池内 (2012: 36) 参照。

を示し、今現在主語の Er (彼) が帰ってきているか帰ってきていないかどうかは定かではなく、話題の中心点に主語が帰ってきている可能性もある¹³⁾。

3.2. 場所規定省略説

- (6) a. Anna ist [in der Stadt] einkaufen.

アナは [町に] 買い物に行っている。(筆者訳)

- b. Anna war [in der Stadt] einkaufen.¹⁴⁾

アナは [町に] 買い物に行っていた。(筆者訳)

この説では、(6) のように、場所を示す語が Absentiv では省略されているとする。ただ (7) のように場所が規定されている Absentiv も存在しているので、この説はあまり強い説とは言えない。

- (7) Gestern **war** ich im neu eröffneten Supermarkt **einkaufen**. An der Kasse war Warten angesagt, sodass ich Zeit hatte, mich etwas umzusehen. (RHZ09/JUL.18397 Rhein-Zeitung, 21.07.2009; Guten Morgen Auweia, das gibt Stress...)

昨日、私は新しくオープンしたスーパーマーケットに買い物しに行っていた。レジで待つことが告げられた、その結果、私には周りを見渡す時間があった。

- (8) a. Anna ist in der Stadt, einkaufen.

- b. Anna war in der Stadt, einkaufen.¹⁵⁾

池内 (2012) によると、場所規定省略説は「同格的不定詞句 (Apposition)」と関連付けて説明する必要がある、同格不定詞句とは、(8) のように主文の内容に

13) 池内 (2012: 36) 参照。

14) 池内 (2012: 37) 参照。

15) 池内 (2012: 37)。

「目的」などを補足するためにコンマの後に後置される不定詞句のことである¹⁶⁾。

3.3. < gehen+ 不定詞 > との平行説

この説は、(weg) gehen と sein を平行関係として捉え、(weg) gehen のような移動動詞の代わりに、sein が使われていると考えるものである。Absentiv が、「状態の移り変わり」と「結果の状態」の成分を持つ (weg) gehen の「結果の状態」にのみ視点があてられ¹⁷⁾ているものだとする説である。この説を池内 (2012) では「(gehen+ 不定詞) との平行説」¹⁸⁾と日本語訳されている。

4. Absentiv で使われる動詞

この章では、Absentiv で使われていた動詞とその分類を見ていく。

4.1. 動詞とそのクラス分け

Krause (2002) で扱われているコーパスでは、42 件の Absentiv が確認され、26 種類の動詞が検出されている¹⁹⁾。頻繁に Absentiv を作った動詞は einkaufen / einkoofn (ベルリン方言) が 4 件、essen が 8 件であった。会話とチャットの中で Absentiv が使われていて、接続法 2 式の例文は一つもなく、現在形は 38.1%、過去形は 54.8%、人称では 1 人称が 45.2%、3 人称が 45.3%、2 人称は 7.4%であった。動詞では 4 格目的語をとらないものが 71.4% にまで上った。

Absentiv で使われていた動詞を Vendler (1957) の動詞のクラス分けに基づき、Krause (2002) が分類した結果、「活動動詞 (Activities)」が 81.4%、「到達動詞 (Achievements)」が 11.6%、「達成動詞 (Accomplishments)」が 4.7%で、「状態動詞 (State)」は見つかっていない²⁰⁾。ドイツ語の Absentiv はイタリア語、オランダ語、ハンガリー語のように高い動作主性 (Agentivity) を持っており、そのため次のような文は許可されない²¹⁾。

16) 池内 (2012 : 37) 参照。

17) Vogel (2007: 258) 参照。

18) 池内 (2012: 38)。

19) Krause (2002: 167- 171) 参照。

20) Krause (2002: 166) 参照。

21) de Groot (2000: 705) 参照。

(9) *Hans ist Geschenke kriegen.²²⁾ (de Groot 2000: 705)

以下、Krause (2002) のコーパスに出てきた動詞のまとめ²³⁾と動詞クラス分けの表である。

表 1 Krause (2002) に出てきた動詞の日本語訳、回数はかっこの中

arbeiten 働く (2)	baden 入浴する (1)
(Mails) beackern メールを処理する (1)	(Freund) besuchen 友達を訪問する (1)
duschen シャワーを浴びる (1)	einkaufen / einkoofen 買い物をする (4)
(was / wat) ess(e)n 食べる (6)	hottn ホットジャズを踊る (1)
J / joggen ジョギングをする (2)	kacken 糞をする (2)
(Platten) kaufen レコードを買う (1)	kegeln ボウリングをする (1)
laufen 走る (1)	(waesche) machen 洗濯する (1)
M / mittagessen 昼食をとる (2)	(beeren) pflücken ベリーを摘む (1)
pissen 小便をする (1)	putzen 掃除をする (1)
(hirsch) schießen 鹿を打つ (1)	schwimmen 泳ぐ (2)
shoppen ショッピングをする (1)	spazieren 散歩をする (1)
surfen サーフィンをする (1)	tanzen 踊る (2)
Telefonieren 電話をする (1)	T / tennispielen テニスをする (2)
zelten キャンプをする (1)	

表 2 の「？」は、活動動詞か達成動詞か分類できなかったものである²⁴⁾。

22) de Groot (2000: 705).

23) Krause (2002: 167- 171) 参照。

24) Krause (2002: 171) 参照。

表 2 Absentiv に使われた動詞のクラス分け

	活動動詞	達成動詞	到達動詞	?	合計
体系的コーパス	15	2	-	-	17
個別の例	5	1	2	-	8
新聞	6	2	-	-	8
チャット	9	-	-	1	10
合計	35	5	2	1	43
%	81,4	11,6	4,7	2,3	100

出典：Krause (2002: 166) の表を筆者が日本語訳した。

4.2. コーパス検索

上で挙げた Krause (2002) のコーパスに対して、私が COSMAS II を使い、タグ付けされている 2005 年の 9 月から 2009 年の 12 月までの *Braunschweiger Zeitung* を調べた結果が以下である。このコーパスの中にあつた Absentiv は、全部で 44 例あり、以下に使用された動詞を示した。また表 3 から、一人称で使われることが多く、二人称の場合は少ないことがわかる。現在形で出てきた例文は 4 件、過去形で使われていたのが 40 件あつた。太字になっている動詞は Krause (2002) と同じものであり、他動詞の例は、*Pizza essen*, *einen Kaffee trinken*, *Berggorillas beobachten* の 3 件のみであり、*Pizza* は無冠詞、*Kaffee* は不定冠詞であつた。

arbeiten(1), **baden**(1), beobachten(1), bummeln(2), **einkaufen**(4), **essen**(7), laufen(3), **joggen**(4), paddeln(2), reiten(2), rutschen(1), **schwimmen**(2), **shoppen**(3), **spazieren**(2), spenden(1), tanken(1), **tanzen**(1), trainieren(1), trinken(1), wählen(1), **zelten**(3).

表 3 Braunschweiger Zeitung で見つかった Absentiv の主語

主語	件数
一人称単数	16 件
一人称複数	13 件
二人称単数	0 件
二人称複数	1 件
三人称単数	9 件
三人称複数	5 件

4.3. 先行研究の補足

以下、(10)～(14)は筆者が独自に DWDS から収集した例文である。

- (10) Wir **waren singen** und Mundharmonikaspielen beim Leutnant. (Brief von Hans Mierisch vom Dezember 1916. In: Witkop, Philipp (Hg.), *Kriegsbriefe gefallener Studenten*, München: Müller 1928 [1916], S. 299)

私たちは歌を歌いに行つて、少尉のところでハーモニカを演奏した。(筆者訳)

今回見つけた Absentiv で一番古かったのが、1916 年のものであった。新たな文法カテゴリーと言われているが、〈sein+ 不定詞〉という形は約 100 年前からドイツには存在していたことが窺える例である。

- (11) Dann denkt Vater, du **bist arbeiten** und besorgst uns eine Wohnung, und manchmal ist er ganz ungeduldig, und fragt, wann du uns endlich aus dem Lager holst.« (Franck, Julia: *Lagerfeuer*, Köln: DuMont Literatur und Kunst Verlag 2003, S. 104)

君が働きに行つていて、私たちのために住処を手に入れると父は考え、ときおり彼はかなりいらいらして、いつ宿泊所に私たちを迎えにくるかと質問する。(筆者訳)

また、中山 (2011) の中で提示されている 2 人称の例は疑問文だけである²⁵⁾。しかし、今回の調査で数は少ないが、2 人称主語で、疑問文でない例文が (11) である。主語の **du** が働きにでており、まだ帰ってきていないと父が考えている場面である。父がイライラしていることから、早く迎えに来てほしいという心情がわかる。

- (12) Marcus **ist fischen**, sagt sie unvermittelt. (Schrott, Raoul: Tristan da Cunha oder die Hälfte der Erde; Hanser Verlag 2003, S. 295)

マルクスは魚釣りに行っていると彼女は突然言う。(筆者訳)

- (13) „Meiner Frau hatte ich ja erzählt, ich **wäre angeln**, aber in Wirklichkeit war ich im Bordell. (Zeit Magazin, 13.05.2015, Nr. 20)

私は妻に、私は釣りに行っていると説明しているが、実際のところ私は売春宿にいた。(筆者訳)

- (14) Sie **waren rumlaufen**, erzählen sie. (Die Zeit, 05.05.2015, Nr. 18)

彼らは歩き回っていたと、彼らは説明する。(筆者訳)

(12)、(13)、(14) は、Krause (2002) のコーパスの中では見られなかった動詞である。

5. 収集した Absentiv の例文とその考察

König (2009) の中で多く Absentiv を作ると確認されている **einkaufen**²⁶⁾ などの例文を収集し、コンテキストに注目した。Absentiv では、使われる動詞に制限があり、全ての動詞が用いられるわけではなく、Absentiv は口語的語法²⁷⁾ だとされているが、新聞の記事などでもこの構文が使われている例をいくつか確認することができた。その中で、Absentiv の中心的意味である「不在」の意味が希薄になっていると考えられることができる例文もあった。その例文をハラルト・ヴァイン

25) 中山 (2000: 162) 参照。

26) König (2009: 47) 参照。

27) 池内 (2012: 33) 参照。

リヒの『時制論』による、テキストは前景 (Vordergrund) と背景 (Hintergrund) がある²⁸⁾ という考えに従って、考察する。最後に、背景を表現するフランス語の半過去との比較をする。

語り手にとって、言いたいこと、伝えたいことが前景で、それに対して、一般的な意味で重要でない出来事、それだけでは誰も聞き耳を立てないものが背景である。また、背景は聞き手にとって、理解の手助けになり、事情がよくのみこめるようにさせるものである²⁹⁾。

5.1. 考察

ここからの例文は、COSMAS II を使い、収集したものである。

- (15) Nach einem vermeintlichen Unfall beim Fensterputzen hat ein Mann in Flensburg eine Suche nach seiner Frau ausgelöst – während sie **einkaufen war**. Über Notruf hatte sich der Mann bei der Polizei gemeldet, wie ein Sprecher mitteilte. Als er seine Frau zuletzt gesehen habe, habe sie Fenster geputzt – nun sei seine Frau nicht mehr da. (M09/MAI.36138 Mannheimer Morgen, 11.05.2009, S. 15;)

窓清掃の際に誤って事故と考えられた出来事の後、一人の男は自分の妻を探した —、彼女が買い物に行っていた間に。フレンスブルクの緊急呼び出しを通じて、その男は警察に通報した、とスポークスマンは伝えた。彼が妻を最後に見たとき、彼女は窓掃除をしていたが、その時彼の妻はもうそこにはいなかったようだ。(筆者訳)

コーパスで例文を収集した結果、**Absentiv** は従属節の中でも使われていた。彼女が買い物に行っていて、直示の中心にいないときに、男が妻を探したり、警察に連絡したりして話が展開している。

- (16) Während die Lenkerin **einkaufen war**, machte sich ein 45-jähriger Mann an

28) ヴァインリヒ (1982: 126) 参照。

29) ヴァインリヒ (1982: 127) 参照。

ihrem Auto zu schaffen. Er steckte vorsätzlich eine Klemme des Starters ab. Als die Frau zurückkam und ihr Auto starten wollte, funktionierte nichts. (NON07/SEP.08112 Niederösterreichische Nachrichten, 12.09.2007, S. 6; Lenkerin ließ sich nicht helfen)

女性運転手が買い物に行っていた間に、45歳の男は彼女の車をいじくりまわした。彼は故意にエンジンスターターのピンを外した。女性が戻ってきて、車を発進させようとしたとき、何も動かなかった。(筆者訳)

(17) も同様に、Absentivの主語が、話の中心地を不在にしている間に、他の人が事件につながる行為を遂行している。男が車に細工をし、車が動かなくなるというのが、前景であり、Absentivが背景を表現している。これは、副文と主文の関係からもわかる。主文の時制は、単なる過去形が使われている。

(17) Plötzlich hat er dann begonnen, das Mädchen sexuell zu bedrängen. Am letzten Schultag holte er die damals 13-Jährige ab. Während die Eltern des Opfers **einkaufen waren**, kam es dann in der Wohnung des Angeklagten zu dem Vorfall. Vergeblich versuchte das Mädchen, sich zu wehren. Schließlich konnte es sich losreißen, ins Bad flüchten und sich dort einsperren“, erklärt Staatsanwältin Mag. Michaela Obenaus-Zimmel. (NON08/JUN.04854 Niederösterreichische Nachrichten, 09.06.2008, S. 7; Vom „Onkel“ vergewaltigt)

突然、彼は少女に性的虐待を始めた。最後の学校の日、彼は当時13歳の子を迎えに来た。被害者の両親が買い物に行っていた間に、被告人の家でその事件は起きた。少女はむなしく自己防衛を試みた。(筆者訳)

(15)、(16)と同様に、両親が外出していて家にいない状況で、事件が起こっている。Absentivが使われた後に話が発展していく。(17)もまたAbsentivが従属節の中で使われている。

(18) Am 24. November suchten bislang unbekannte Täter ein Einfamilienhaus in

Langenzersdorf heim. Sie brachen die Terrassentür auf und entwendeten diversen Schmuck und 50 Euro Bargeld. Die Tat ereignete sich, als die 68-jährige Besitzerin **einkaufen war**.

(NON08/DEZ.02617 Niederösterreichische Nachrichten, 02.12.2008, S. 4; IM EINSATZ)

11月24日にこれまで知られていない犯人たちがランゲンツェア村のある家族の家を見つけ出した。彼らはテラスの扉をこじ開け、様々なアクセサリーと、50ユーロの現金を盗んだ。68歳の持ち主の女性が買い物に行っていたときに、その犯行は起こった。(筆者訳)

(18) では、犯人たちが家に押し入ったことが、前景となり、68歳の女性が買い物に行っていたことは背景になる。(18)も前の例文同様に、**Absentiv**の主語が不在の間に「事件」が起きている。ここでも、主文では過去形が使われている。

(19) Die meisten Opfer kamen durch diese Schrapnelle, nicht durch die Explosionen ums Leben. Fernsehsender zeigten am Tag danach bedrückende Bilder – etwa das der vierjährigen Subhana. Sie **war** am Vorabend zum Zeitpunkt der Anschläge mit ihrer Mutter und ihrer Tante **einkaufen** und überlebte als Einzige. Die Krankenhausärzte hatten dem verletzten Mädchen noch nicht gesagt, dass es nun eine Halbwaise ist. (NUN08/MAI.01409 Nürnberger Nachrichten, 15.05.2008, S. 2; Erschütterung nach dem Terrorakt - Indien trauert, aber bleibt gefasst)

多くの犠牲者は爆発ではなく榴散弾のせいで死んだ。テレビ放送局はその日に息の詰まるような写真を見せた。例えばそれは4歳のスプハナのである。彼女は前夜、テロの時刻に母と叔母と買い物に来ていて、生き残ったただ一人だった。医者はけがをした少女に親が亡くなったことをまだ言わなかった。(筆者訳)

少女と母と叔母が買い物をしに外出していてそこでテロの被害にあった、という意味の文だが、少女らが家を不在にしていたという不在を示す意味合いが弱

まっている。むしろ伝えたい前景部はテロの被害にあって、少女が生き残ったことであろう。ここでも、Absentiv 文の次の *überleben* は、過去形の形をとっている。

- (20) Ein besonders erfreuliches Erlebnis hatte Monika Schiefer aus Waidhofen, als sie in der Vorwoche im Baumarkt des Raiffeisen-Lagerhauses einkaufen wollte: die Kassierin drückte ihr einen 20-Euro-Schein in die Hand. Wie es dazu kam? Monika Schiefer **war** etwa zwei Wochen zuvor bereits im Lagerhaus **einkaufen**. Damals gab ihr die Kassierin - Gerlinde Pfeiffer - um 20 Euro zu wenig Retoungeld. Als sie den Fehler bemerkte, war die Kundin jedoch schon weg und auch nicht namentlich bekannt. (NON09/NOV.12192 Niederösterreichische Nachrichten, 18.11.2009, S. 10;)

とりわけ喜ばしい体験をヴァイトホーフェン出身のモニカ・シーファー氏はした、それは数週間前にライフファイゼンの倉庫の建築市場で買い物しようと思っていたときのことである。レジ係の女性が彼女に 20 ユーロ紙幣をそっと手渡したのである。なぜ、そんなことになったのか。モニカ氏は約二週間前にすでにその倉庫で買い物をしていた。その時、レジ打ちをしたゲルリンデ・プファイファー氏は彼女におつりを 20 ユーロ少なく渡してしまった。ゲルリンデ氏が間違いに気づいたときには、彼女はすでになくなっており、特に知り合いというわけでもなかった。

(筆者訳)

この (20) の文章で焦点が当たっている部分は、喜ばしい体験であるお金の返金についてである。ここでも、Absentiv の次の文、*Damals gab ihr die Kassierin - Gerlinde Pfeiffer - um 20 Euro zu wenig Retoungeld.* の文は、過去形である。

- (21) „Wer ist eigentlich für das Schneeräumen zuständig?“

Das fragt auch Regina Balzereit. Die 58-Jährige **war** mit ihrer Tochter **bummeln** – und vor Woolworth sei es passiert: Beide Frauen, sie hatten sich sicherheitshalber untergehakt, stürzten gemeinsam hin. Die Tochter habe sich dabei arg den Ellenbogen aufgeschlagen. Wer endlich den vielen Schnee

wegräume?

(BRZ09/JAN.01583 Braunschweiger Zeitung, 06.01.2009; Schnee von gestern ließ Passanten beim Einkaufsbummel stürzen)

誰がそもそも雪かき担当ですか。それを Regina Balzereit も質問する。58歳のその女性は、娘とぶらついていた。そして、ウールワースの前で、それは起きたという。二人の女性が、安全のために腕を組んでいて、一緒にこけた。その娘はその時ものすごくひじを打ち付けていた。誰がいったいたくさんの雪を片付けるのですか。(筆者訳)

Absentiv がここでも使われているが、この構文は、主語である女性が話の中心地を不在にしていることより、ただ単に外出したことを表現するために使われるよう考えられる。今までの例文とは違い、Absentiv の直後に過去形の文がでていないが、“-,” の後ろの文の **stürzten** は過去形である。そのため、記事のタイトルにもあるように「こける」ことに焦点が当てられているので、ここが前景であると考えることができる。

- (22) Auf den Fotos zu sehen sind Hühnerfüße, an denen Chinesen gerne knabbern, aber auch Plattenbauten und Häuser, die abgerissen werden. „Das Bezeichnendste für mich war, dass sich in Peking ständig alles verändert“, sagt Christine de la Garenne. „Wenn man noch gestern bei einem Kiosk **einkaufen war**, kann es sein, dass er am nächsten Tag schon abgerissen ist – und mit ihm alle anderen Häuser in seinem Umkreis.“ (BRZ07/JAN.04173 Braunschweiger Zeitung, 12.01.2007; Fotos und Bilder über ein Leben in fremden Welten)

写真には、中国人が好んで鶏の足をかじっているのと、解体されているプレハブと家が見てとれる。私にとって最も特徴的だったのは、永続的に北京ですべて物が変わっていることであるとクリスティーナがいう。人がまだ昨日はキオスクで買い物していたとしても、次の日にはすでに取り壊されているかもしれない。それと共に、周辺のほかの家全ても。(筆者訳)

Absentiv が使われているが、主語の **man** が不在であるかないかはよくわからなく、不在の意味をあまり感じるができない。

- (23) Für mich ist es so schwer, wie für alle anderen auch. Im Urlaub habe ich versucht, mich zu erholen. Ich **war** höchstens mal 30 Minuten **joggen**. Deshalb waren die ersten drei, vier Tage der Vorbereitung sehr hart. Sie spielen nicht nur mit dem VfL in drei Wettbewerben, sondern auch regelmäßig für die brasilianische Nationalmannschaft.

(BRZ09/JAN.11342 Braunschweiger Zeitung, 27.01.2009; „125 Millionen Euro sind unnormal“)

他のみんなと同じようにそれは私にとっても難しい。休暇の時に、なんとか回復しようと努めたけども。私は多く見積もっても 30 分しかジョギングしていなかったので。だから、準備の最初の 3, 4 日は、とても厳しいものだった。彼らは、3つの競技会で VfL と対戦しただけでなく、定期的にブラジルのナショナルチームの一員としてもプレーしている。

(23) の Absentiv では、不在の意味は (22) 同様に限りなく薄い。「私」がジョギングをしに行っている間に、何も事件は起きていない。直後の文は今までの文で多かったように、動詞の形が過去形である。

- (24) Am Wochenende **war** ich in Ruanda Berggorillas **beobachten** und am Great Barrier Reef **tauchen** – fast, muss ich dazu sagen. Nachdem ich in Berlin durch schneebedeckte Straßen gepflügt bin, ist mir endgültig der Kragen geplatzt. Ich wusste mir keinen Rat mehr und tat etwas, was sonst nur Verrückte tun.

(BRZ06/MAR.07900 Braunschweiger Zeitung, 14.03.2006; Palmenstrand statt Schneeschippen)

週末に私はルワンダでマウンテンゴリラを観察し、グレートバリアリーフで潜水をした。--- というか、ほとんどそうしただった、と (それに対して) 私は言わねばならないんだよ。私はベルリンで雪に覆われた道をかき分るようになって進んだ後、とうとうキレてしまった。私はもう打

つ手がなくなっていた、そして、気の狂った人しかしないようなことをしてしまったんだ。

(24) も、(22)、(23) 同様に不在の意味が限りなく薄い。ルワンダに行ったり、グレートバリアリーフに行ったりすることが日常的なことかもあやしく、Absentiv の構造を持つ文だが、意味的には最初に挙げた特徴に合わない。(16) ~ (18) の例文は Absentiv の主語が不在の間に、事件的な何かが起きている。そのため、この構文の主語が不在にしている部分が背景であり、事件が起きたことが前景だとわかる。また、(19) ~ (21) においては、不在になっている話の中心地ではなく、主語の外出先で事件的何かが起きている。(22) ~ (24) は、Absentiv の主語が外出していても、事件などが起きない例である。このように、いくつかの例文においては、不在の意味が希薄になっていることが考えられる。

5.2. フランス語の半過去形

フランス語の半過去形は、過去のある時点での行為、状態をまだ完了していない進行中のものとして表現し、継続、習慣、反復、描写などの多彩な用法を持っている。つまり、未完了相を意味する。半過去は継続的な行為を表現するため「線的な過去」と呼ばれ、よく対比される複合過去は一時的な行為を表現するため「点的な過去」と呼ばれる³⁰⁾。また、半過去は文中で背景のことを説明するとき、つまり、物語上の重要な出来事ではなく、補助的な情報を述べる³¹⁾ときに、複合過去は過去の出来事を述べるときにそれぞれ使われる。

(25) J'habitais à Paris il y a deux ans. 〈半過去〉

私は2年前パリに住んでいた。

b. J'ai habité à Paris pendant deux ans. 〈複合過去〉

私は2年間パリに住んだ。

c. *J'habitais à Paris pendant deux ans. ³²⁾

30) 森本他 (2013:243-244) 参照。

31) 舟本 (2016: 194) 参照。

32) 森本他 (2013: 234- 244) 参照。

私はパリに2年間住んでいた。(筆者訳)

半過去は語尾が *-ais, -ais, -ait -ions, -iez, -aient* となり、複合過去は *avoir* または *être* の直説法現在形 + 過去分詞と共に作られる。同じ2年という表現を使っているが、(25) a. の「2年前」は「線的な過去」、b. の「2年間」は「点的な過去」としてとらえられていることがわかる。日本語では「私は2年間パリに住んでいた。」と言えるが、(25) c. の例文のようにフランス語では不可能である³³⁾。なぜならば、「2年間」という期間は、起点と終点が規定されているため、半過去と共に使われることができないからである。つまり、この場合、「2年間」は「点的」なものだとして捉えられている。

上で見てきたように、ドイツ語の *Absentiv* は補助的な、背景的な情報を述べていた。これは、フランス語の半過去と似た機能を *Absentiv* が持っているということであろう。ドイツ語では、フランス語の半過去のような未完了相を表現する構文はないとされているが、*Absentiv* が新しい未完了相を表現する構文である可能性がある。また、フランス語では *Absentiv* が見つかっていないが、それはもともと *Absentiv* と似た役割を持つ半過去という表現方法が存在するからではないだろうか。このように、フランス語の未完了を表現する半過去と似た機能を持ち合わせていることが確認できた。これは今までドイツ語になかった時制の可能性があるのである

6. 結論

初めに、先行研究で規定されていた *Absentiv* の統語的特徴と意味論的特徴を確認し、次に *Absentiv* の由来、この構文で使われる動詞とそのクラス分けなどを見てきた。ドイツ語の *Absentiv* は、主語の不在を意味する構文であるとされているが、この構文の実際の使われ方を調査したところ、主語の不在を強く意味していないような例文がいくつか見つかった。具体的に言うと、(16) ~ (18) の例文は *Absentiv* の主語が不在の間に、事件的な何かが起きていて、(19) ~ (21) の例文は、不在にしている中心地ではなく、主語の外出先で事件的何かが発生していた。(22) ~ (24) は、*Absentiv* の主語が外出していても、事件などが起きない例であり、こ

33) 森本他 (2013: 244) 参照。

こで不在の意味がより希薄になっていると考えられる。そして、そのテキストの中で、ヴァインリヒの『時制論』による考え方をを用いると、Absentiv が補足的情報、背景を述べる機能を持っている可能性もあることがわかった。その結果、最初に規定されていた Absentiv の意味より拡張した用法を実際のテキストを見ることで確認することができた。また、Absentiv の補足的情報と背景を説明していた点が、フランス語の半過去が持つ機能と類似していた。半過去は複合過去との対比で「線的な過去」と呼ばれているので、ドイツ語の Absentiv も過去形との関係の中で未完了相を表現する方法なのではないだろうか。

参考文献

一次文献

DWDS URL: <https://www.dwds.de/> (参照日 2020 年 1 月 4 日)。

COSMAS II URL: <https://cosmas2.ids-mannheim.de/cosmas2-web/faces/investigation/archive.xhtml> (参照日 2021 年 10 月 3 日)。

二次文献

de Groot, Casper (2000) : The absentive. In: Dahl, Östen. (Hg.) : *Tense and Aspect in the Languages of Europe*. Berlin: De Gruyter Mouton, S.693-719.

Gargyan, Gabriella (2014) : *Der am- Progressiv im heutigen Deutsch. Neue Erkenntnisse mit besonderer Hinsicht auf die Sprachgeschichte, die Aspektualität und den kontrastiven Vergleich mit dem Ungarischen*. Frankfurt am Main: Peter Lang.

König, Svenja (2009) : Alle sind Deutschland … außer Fritz Eckenga –der ist einkaufen! Der Absentiv in der deutschen Gegenwartssprache. In: Winkler (Hg.) : *Konstruktionelle Varianz bei Verben*. (=Opal-Sonderheft 4) Mannheim: Institut für Deutsche Sprache, S. 42-74.

Krause, Olaf (2002) : *Progressiv im Deutschen. Eine empirische Untersuchung im Kontrast mit Niederländisch und Englisch*. (Linguistische Arbeiten; 462) , Tübingen: Niemeyer.

Vendler, Zeno (1957) Verbs and Times. In: *The Philosophical Review* Vol. 66, No. 2. pp. 143-160.

- Vogel, Petra M. (2007) : Anna ist essen! Neue Überlegungen zum Absentiv. In: Geist, Ljudmila u.
Rothstein, Björn (Hg.) : *Kopulaverben und Kopulasätze*. (Linguistische Arbeiten 512) ,
Tübingen: Niemeyer. S. 253-284.
- 池内宣夫 (2012) 「Absentiv, あるいは「不在構文」について」大分大学教育福祉
科学部研究紀要、34 巻、1 号、33 ～ 46 ページ。
- ヴァインリヒ、ハラルト (1982) 『時制論 文学テキストの分析』紀伊國屋書店。
- 国松孝二 (1999) 『独和大辞典コンパクト版〔第 2 版〕』小学館。
- 中山豊 (2011) 「ドイツ語の「不在構文」について」慶應義塾大学日吉紀要ドイ
ツ語学・文学、47 巻、151 ～ 167 ページ。
- 舟本正太郎 (2016) 「物語における前景と後景—— ハラルト・ヴァインリヒ『時
制論』における「浮き彫り付与」に関する考察——」早稲田大学大学院文学
研究科紀要、61 巻、191 ～ 203 ページ。
- 森本英夫他 (2013) 「新・リュミエール—フランス文法参考書—増補改訂版 MP3
CD-COM 付」駿河台出版社。

(いとう・みなと 学習院大学人文科学研究科博士前期課程)

